



秋のオススメ本紹介

YA担当より

秋といえば、食欲の秋や、スポーツの秋、いろいろあると思いますが、今年は読書の秋はいかがですか？YA担当が選んだおすすめの本で実りある読書タイムを過ごしてみませんか？もちろん、新生YAコーナーにもおすすめの本をとりそろえていますよ。

1、「天狗ノオト」

田中 彩子／作

理論社

児童書架 913タ



一天狗ニアフ

祖父が遺した日記の中に、偶然、奇妙な

一文を見つけた保。

現代にいるはずのない天狗に出会ったとは一体どういうことなのか。

気になった保は、町に残る天狗伝説の謎を探るため、同級生二人と一緒に、聞き込み調査後に山に入る。神や妖怪ともいわれる天狗、生贄を求める山の力等、日本古来の神事、和風ファンタジーに興味がある方におすすめの一冊。

2、「印刷職人は、なぜ訴えられたのか」

ゲイル・ジャロー／著

幸田 敦子／訳

あすなろ書房

児童書架 316ジ



今から 300 年前のアメリカでおきた報道・言論の自由をめぐる事件の真相をえがく。

当時、イギリスの植民地だったニューヨークへ赴任してきた新総督は、職権を濫用し傍若無人に振る舞っていた。

住民を不安におとしいれる彼に対し、政府批判で捕えられる危険を覚悟で立ち向かった人々がいた。

彼らがとった行動とは？

情報があふれる現代で発信者・受け手としても考えさせられる作品。

3、「チェロの木」

いせ ひでこ／作

偕成社

児童書架 Eセ



曲をつくった人がいる。それを演奏する人がいる。その楽器をつくる人がいる。

森の木を育てる仕事をしていた祖父、バイオリンやチェロの職人をしている父、チェリストのパプロさん、そして幼い「わたし」。

森の木々と、音楽に囲まれて育った「わたし」は、次第にその美しさの魅力に魅せられていき…。木々や楽器への愛おしさが溢れています。

瑞々しく、透明感のある絵と、優しく美しい言葉が胸に響く一冊です。

4、「千年の森をこえて」

キャシー・アップルト

／著

片岡 しのぶ／訳

あすなろ書房

児童書架 933ア



テキサス州東部、メキシコ湾へと流れ込むサピーン川の上流にうっそうとした森がある。この森に、1匹の捨て猫が迷い込み、千年にわたる不思議な物語は動き始めた。現在、25年前、そして千年前。

ネイティブ・アメリカンの神話が息づく太古の森を舞台にくりひろげられる不思議な物語。